

モンタナ州：小麦作柄と気象状況

2003年2月3日

2003年1月概況

2003年1月の降水量は、北中央地区、中央地区では平年の凡そ半分以下であったが、他の地区では平年を多少上回る降水量であった。州全体の土壌水分は12月より多少改善された。1月末のTopsoil水分はVery short:25%、Short:46% Adequate:26%、Surplus:3%と発表され、これは昨年同期のTopsoil水分より良い状況である(昨年:Very short:38%、Short:53%、Adequate:9%)。

1月末の冬小麦のSnow cover状況は、Excellent:0%、Good:0%、Fair:8%、Poor:9%、Very poor:83%と12月より悪化した。凍害はHeavy:2%、Moderate:51%、Light:36%、No damage:11%と発表された。

土壌水分生育状況：1月末日

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	25	46	26	3
Subsoil (%)	45	39	16	0

冬小麦作柄状況：1月末日

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This month (%)	3	25	42	28	2
Last month (%)	1	25	55	18	1
Last year (%)	6	45	47	2	0
5-yr. Ave. (%)	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A

Source: Montana Agricultural statistics Service

今後は来年4月まで毎月一度気象概況を報告致します。

当該作柄レポートに関するご質問、お問い合わせは下記宛てにお願い致します。

小川正晃：E-mail ogawa.max@omicnet.com